

# 平成 30 年度 RCJ 中国・四国ブロックキャンプ 実施報告書



作成：平成 30 年度 RCJ 中国・四国ブロックキャンプ実行委員会

【主催】平成30年度 RCJ 中国・四国ブロックキャンプ実行委員会

実行委員長 平成30年度 RCJ 中国・四国ブロック代表 愛媛県連盟 吉川直希

構成員 平成30年度 RCJ 中国・四国ブロック各県代表

【目的】野外活動を通してスカウト同士の絆を深め、今後の活動のさらなる発展に繋げる。

【テーマ】『用和為貴』

【日時】3月15日（金）～17日（日） 2泊3日（野営）

【場所】宮島 包ヶ浦自然公園（広島県廿日市市宮島町 1195）

【参加費】5,000 円

【参加者】14名（含む実行委員会4名）

【タイムスケジュール】

3月15日		3月16日		3月17日	
6		6:00	スタッフ起床	6:00	スタッフ起床
7		7:00	参加者起床、食材配布	7:00	参加者起床、食材配布
8		7:30	朝食	7:30	朝食
8		8:30	朝礼	8:30	朝礼
9		9:00	活動	9:00	撤営
10			①弥山ハイキング		
11			②フォトロゲイニング		
11			搜索中	11:00	撤営完了
12	00 受付	12		12:00	閉会式
12	45 開会式			12:30	解散
13	00 オリエンテーション	13		13	
13	30 設営	14		14	
14		15		15	
15	30 アイスブレイク	16:00	お風呂	16	
16		17		17	
17	30 夕食	18:00	夕食	18	
18		19		19	
19	30 交流会	20:00	ミニフォーラム	20	
20		21		21	
21	30 スタッフ会議	22:00	スタッフ会議	22	
22	00 消灯	22:30	消灯		

【プログラム詳細】

○弥山ハイキング

- ・雨天決行
- ・場所：弥山
- ・時間：09：00～12：00
- ・内容：弥山ハイキング
- ・概要：活動班で登る。ロープウェイを使うため往復で1800円必要。(参加費に含む)

○フォトロゲイニング&捜索中

- ・雨天決行
- ・場所：宮島島内
- ・時間：13：00～16：00
- ・内容：フォトロゲイニング、ミニゲーム
- ・概要：活動班で行動する。指定されたフォトポイントで写真を撮る、もしくは運営委員のいるチェックポイントで課題をクリアすることでポイントを加算する

【装備品】

全体装備		購入品		個人装備	
倉庫テント	1 岡山	ガス缶	6	リュックサック・バック	1
ドームテント	3 広島(1)、岡山(2)	養生テープ	1	制服制帽	1
フライテント	2 岡山	着火剤(ゼリー)	2	着替え	3日分
焚火台	1 広島	洗剤	1	防寒着	1
火ばさみ	2 岡山	ハンドソープ	1	寝袋	1
ガスコンロ	2 広島	ラップ	1	ベッド・マット	1
炊具	1 岡山	アルミホイル	1	食器一式	1
やかん	1 広島	ホワイトロープ	1	マイカップ	1
クーラーボックス	1 岡山	キッチンペーパー	2	タオル	適量
バケツ	1 岡山	食材	適量	お風呂セット	1
テーブル	2 広島(1)、岡山(1)			洗面用具	1
ランタン	1 広島			新聞紙	1
工具	1 岡山			米	2合
スウェーデントーチ	3 広島			ソロテント	
荷物ネット	3 広島			バーナー	
炊飯器	1 神尾さん			折りたたみ椅子	1
				懐中電灯	1
				雨具	
				筆記用具	
				個人常備薬	
				保険証	
				個人用救急具	
				初日の昼食	1

【食事】

	3月15日	3月16日	3月17日
朝		○雑炊 ・ 昨晚の鍋の出汁 ・ 米 7合	○菓子パン(2個) ○ジュース ○魚肉ソーセージ
昼	持参	食べ歩き	
夜	○鍋 ・ 鍋の出汁 4パック ・ 白菜 1株 ・ ネギ 2~3本 ・ 水菜 1袋 ・ 人参 1本 ・ 鳥もも肉 500g ・ しらたき 1パック ・ 絹豆腐 2パック	○豚かば井 ・ 豚肉 1,500g ・ 玉ねぎ 3玉 ・ キャベツ 1/2玉 ・ 塩コショウ ・ 米 10合 ・ 蒲焼のたれ	

※菓子パン…小麦粉アレルギーには米粉パンで対応

【安全管理・事故防止】 火器や刃物の使用に関する注意を徹底する。

宮島には狭い道が多いため、車両とのすれ違いには十分注意する。

鹿等をむやみに刺激しない。

活動内容	危険因子	防止対策
設営	・運搬時に怪我をする	・慎重に行う ・声を掛け合う
食事	・炊事中に怪我をする ・食中毒 ・火傷 ・食材に鹿が近寄る(食べる)	・広く安全な場所で行う ・手洗いうがいアルコールを徹底し、食材には必ず火を通す ・細心の注意を払う。火傷をした場合はすぐ冷やす ・地上には食材を置かず、木に吊るすなど対策をする(テント内にも置かない)
ハイキング、 フォトロゲイニング	・迷子 ・交通事故	・現在地を確認しながら進む ・一般道を歩くことがあるため、広がらないように歩く ・交通ルールを守る

【救護】 ①基本的には各自持参した救急用品で対応する。

②投薬は行わない。必要だと思われるものは全て持参する。

③病院

○宮島クリニック (内科、外科)

TEL 0829-44-1770

<http://www.geocities.jp/miyajimaclinic/>

【実行委員紹介】

氏名	担当	所属	備考
吉川直希	実行委員長	愛媛県連盟新居浜第2団	当日欠席
加藤遼	プログラム	鳥取県連盟鳥取第11団	実行委員長代理
斉藤由佳	食事	広島県連盟佐伯第6団	
山下恵里子	装備	山口県連盟山口第1団	
尾坂詩苑	安全	岡山県連盟西大寺第5団	
森淳人	プログラム	徳島県連盟徳島第11団	当日欠席

【参加者名簿】

所属県連盟	所属団	氏名
広島	広島第13団	山本晴也
	安佐第6団	余多分祐人
	福山第2団	世良知佳
岡山	西大寺第1団	高畑昌志
	浅口第1団	安福翔輝
山口	柳井第3団	宮本颯
	岩国第1団	神尾尚
鳥取	倉吉第3団	田中聖也
愛媛	四国中央第2団	苅田裕介
神奈川	川崎第54団	大西広

## 【活動報告】

### プログラム①

#### ～アイスブレイク～

- ・場所：運動場
- ・内容：サッカー
- ・概要：2チームに分かれ、10分試合・5分休憩・10分試合で体を動かした。



### プログラム②

#### ～弥山ハイキング～

- ・場所：弥山
- ・時間：09:00～13:00
- ・内容：弥山ハイキング
- ・概要：活動班で登った。紅葉谷から獅子岩までの往復はロープウェイを使用する予定だったが、強風により11:45頃よりロープウェイが運行を中止したため、徒歩で下山してもらった。



#### ～フォトロゲイニング&搜索中～

- ・場所：宮島島内
- ・時間：13:00～16:00
- ・内容：フォトロゲイニング、ミニゲーム
- ・概要：活動班で行動。指定されたフォトポイントで写真を撮る、もしくは運営委員のいるチェックポイントで課題をクリアすることでポイントを加算。
- ・ルール等について



- 1.出発時にフォトポイントの指定を行う。各班に運営委員のいる第1チェックポイントを教え、向かってもらう。
- 2.運営委員のいるチェックポイントは「栈橋近くの公園」「紅葉谷公園」「五重塔」の3ヵ所とし、それぞれ「栈橋近くの広場」では体を使ったゲーム、「紅葉谷公園」ではロープワーク、「五重塔」では手旗カードを使ったゲームを行う。課題終了後、次のチェックポイントを教える。
- 3.「栈橋近くの広場」では円になって座り、班員全員が手を繋いだまま同時に立つゲーム、人間知恵の輪の2つを行う。クリアまでにかかった時間によって点数を決める。(担当：斉藤)

30秒：3p

45秒：2p

60秒：1p

それ以上：0p



4.「紅葉谷公園」では結索を行う。制限時間内に長い pp ロープに班で個人がいろんな結びをする。1 つの結び方に対して 1 ポイントとし、同じ結び方は 2 個までポイントの対象とする。(担当：山下)

5.「五重塔」では手旗の絵が書かれたカードをから次のポイントがどこか読み取る。読み取るまでにかかった時間でポイントが加算される。(担当：尾坂)

30 秒：3p

45 秒：2p

60 秒：1p

それ以上：0p

6.スタート時に指定したフォトポイントで写真を撮ることでポイントを加算する。これらのポイントは必ずしも回る必要はない。

・五重塔(指定したアングル)、鳥居、ポストと消火栓、顔ハメパネル(1ヶ所につき)、警察署、消防署、スタバ、赤い橋、ロープウェイの看板…1p

・大聖院…3p

※プログラム中に各活動班ごとに食事をとる。

※集合場所は「山田屋」とし、集合時間は 13：00 厳守とする。最終ポイントを「宮島水族館」前とし、集合時間は 16：00 厳守とする。

○各チェックポイントの様子

・人間知恵の輪・ミニゲーム(栈橋近くの広場)

課されたミッションに対してメンバー全員で頭を使いながら楽しそうに取り組んでいた。

・ロープワーク(もみじ谷公園)

班員同士話し合いながら、1分以内に1つでも多くの結索を作ろうと工夫する姿が印象的だった。

・手旗信号(五重の塔)

紙に記載された手旗信号を読み取り、次のチェックポイントの場所を把握するコーナー

だった。読める人がいた班はすぐ解読できていたが、一方は苦戦していたように感じた。

プログラム③

～ミニフォーラム with スウェーデントーチ～

・場所：サイト内

・内容：ミニフォーラム

火を囲みながら、各県連盟の活動状況の共有をしたり、RCJ 行事や県代表の仕事について話し合う。

・目的：スカウト同士の交流を深める。新しくローバーになったスカウトが全国規模の大会に参加する機会を作る。

【決算】

○収入：55,300 円

基本参加費を 4,700 円とし、遅参・途中抜けに対しては以下の金額を参加費から引く

- ・ 宿泊：500 円/1 泊
- ・ ロープウェイ：1,000 円
- ・ 風呂：500 円
- ・ 食事：500 円/1 食

内訳	金額(円)	人数(人)	小計(円)
全日程参加	4,700	7	32,900
ロープウェイなし	3,700	3	11,100
ロープウェイ・風呂なし	3,200	1	3,200
ロープウェイ・17朝食なし	3,200	1	3,200
15夕食・15泊・16朝食・ロープウェイなし	2,200	1	2,200
15夕食・15泊・16朝食・風呂なし	2,700	1	2,700
計			55,300

○支出：55,300 円

内訳	費用(円)
宿泊費(1泊500円、15日12人/16日14人)	13,000
ロープウェイ(片道1,000円、8人)	8,000
風呂代(1回500円、12人)	6,000
プログラム経費	1,250
食費	14,888
消耗品	1,404
交通費・ガソリン代補助	10,758
計	55,300



### 【運営感想】

・運営する側として、参加者が「楽しかった」という言葉は何より嬉しいものであった。しかし、準備が不足していた部分もあり、それは大いに反省するところであった。去年の参加しに加えて、新たな仲間も増え、今回のキャンプの目標であるローバーの交流をはかるという目的は十分達成されたと考えた。今後も中国・四国ブロックキャンプがブロック内外のスカウトの交流を発展させて行くものになっていくこと、各県連のローバー活動が発展していくことを願っている。(鳥取)

・初めてのキャンプ運営で不安が大きかったが、参加者の方々が皆笑顔で「楽しかった」「また来年も来たい」と言ってくれたので嬉しかった。今回食事を担当していたが、初日の夜、2日目の朝と夜がもう少し量が多くてもよかったと思うので、来年の担当者は今回のメニューと食材を見て少し多めに準備をするようにしてほしい。(広島)

・突然の雷雨や強風など、予想していなかったことも多々あったが、特に大きなけがや病気などなく無事に終わられて良かった。「楽しかった」という言葉が多く聞けたのは嬉しかったし、私自身心から楽しむことが出来たと思う。やはり鹿がサイト内に多く居て、一瞬の間隙をついて食糧などを食べに来るので、各々が物の管理を徹底しておく必要があると痛感した。(山口)

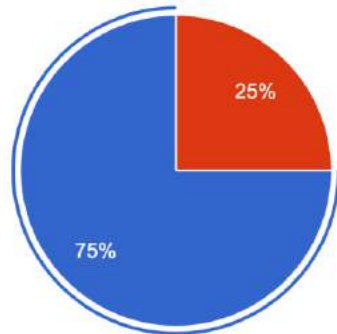
・初めて運営する側として参加をした。その中で準備がいかに大切であるのかを実感した。途中で足りない気がつくことも多々あったが、参加者や他のメンバーの協力のもと無事に終わることができてよかった。また、中国・四国地区は範囲が広く他県連の仲間と関わる機会が少ないので、同年代のスカウトがどのように活動しているのかなどの共有を通して、互いに励まし合うことができよかったと思う。この熱を各県連に持ち帰り、益々発展していくことを願う。(岡山)



【参加者事後アンケート結果】

今回のキャンプに参加してよかったですか？

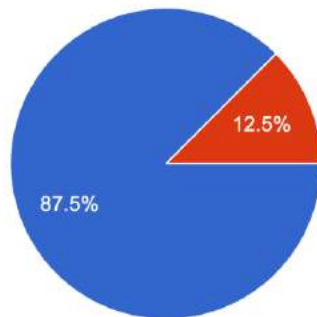
8件の回答



- 非常に良かった
- まあまあ良かった
- ふつう
- よくなかった
- 非常によくなかった

今後も開催した方がいいと思いますか

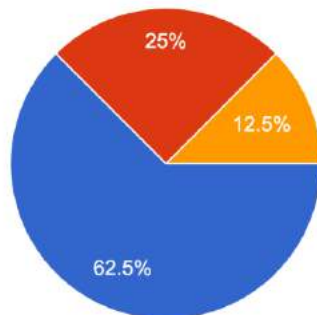
8件の回答



- 非常にそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- そう思わない
- 非常にそう思わない

アイスブレイクについて

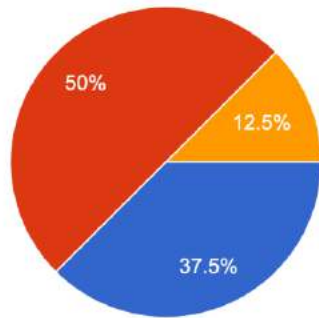
8件の回答



- 非常に良かった
- よかった
- ふつう
- よくなかった
- 非常によくなかった

## 弥山ハイキング・フォトロゲイニングについて

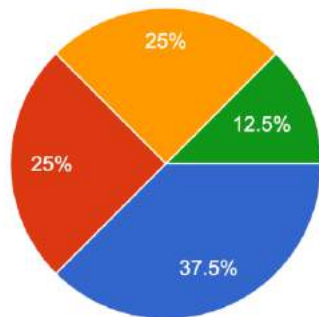
8件の回答



- 非常によかった
- よかった
- ふつう
- よくなかった
- 非常によくなかった

## 食事について

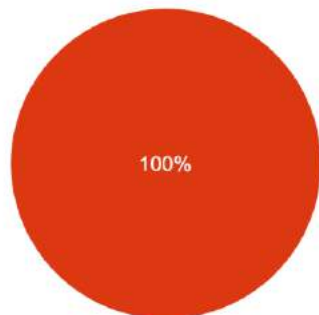
8件の回答



- 非常によかった
- よかった
- ふつう
- よくなかった
- 非常によくなかった

## 参加費について

8件の回答



- 高かった
- ちょうど良い

## 【参加者感想】

### ○ミニフォーラムについて

- ・難しいテーマだったが、みんな興味を持って参画できていたと思う。
- ・お互いの状況も分かるのでいいと思う
- ・良かった
- ・もう少しいろいろな人に話を振った方が良い
- ・めっちゃ良かった！
- ・他県の活動、また同年代の活動について知れて良かったです。スカウト活動の幅が広がりました。
- ・火を囲んで話し合い、現状を知るいい機会となった。
- ・ためになった

### ○参加した感想

・昨年同様、事前準備に課題を感じた。県代表とは別に県内のスカウトを準備に巻き込んでもいいのではないかと思う。また、若い世代の参加が多かったのが次年度以降の継続に期待が持てる。しかし、学生の参加が多く、社会人以降の活動の難しさを感じた。

前から知っていた人だけでなく新しく知った人とも交流を深める事が出来たので良かった

- ・良かった
- ・運営ありがとうございました
- ・なかなかローバー世代はあわないが中四国ブロックの年代が集まり非常に楽しかった  
楽しかったです！参加して良かったです！！ローバー隊としての新たな繋がりができ、これからの活動にも繋げていきたいと思います。
- ・昨年以上の出来で本当によかったです。次は島根、徳島あたりの開拓したいですね！
- ・楽しかった！

### ○来年度への要望

- ・今年度同様頑張ってもらいたいです
- ・人数を増やして大人数で出来る事をやってみたい
- ・炊事もきちんと、飯盒などを使ってやりたい。
- ・来年度も楽しみにしております
- ・日にちが合えば是非
- ・ぜひ参加したいです
- ・運営側のノウハウを身につけてより良いものにして下さい。